

「日南線活用に関する検討会」における2021年度の取り組みについて

1. 検討会の取り組み概要

日南線を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くのお客さまに選ばれる交通手段になることを目的として、2021年度は「日南線活用に関する検討会」を計4回開催し、線区のご利用実態に関する情報共有や意見交換などを行いました。

また、ご利用状況を改善するため、JR日南線利用促進連絡協議会や沿線自治体等において様々な線区活用策が実施され、多くの方にご参加等頂きました。

2. 出席者

宮崎市、日南市、串間市、志布志市、宮崎県、鹿児島県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社

3. 主な線区活用策（JR日南線利用促進連絡協議会及び沿線自治体等による取り組み）

日南線フォトコンテスト

日南線の車窓をテーマに、Instagramを活用して開催

【グランプリ作品】



【準グランプリ作品】



- ・参加者 23名(JR利用者 23名)
- ・応募総数約 80件

JR日南線利用促進イベント公募

JRを活用したイベント(JAZZトレインや子育て応援列車、高校生と行く小学生ふれあい旅など)を実施する串間市内の団体に対して、費用の一部を補助

【高校生と行く小学生ふれあい旅】



・参加者 95名(JR利用者 95名)

沿線ガイドマップの作成

鹿児島県内在来線7線区の観光モデルコースを集約した電子ブックを作成
・2021年度末に配信開始

アミュプラザみやぎとの連携お買い物きっぷ

宮崎までの往復乗車券とアミュプラザみやぎのショッピングチケット引換券がセットになった割引きっぷを発売

- ・販売実績 48 枚(JR 利用者 48 名)
- ・コロナ拡大期間は発売を停止

観光列車平日臨時運行支援

観光列車「海幸山幸」の平日貸切を行う場合の費用の一部を補助

- ・参加者 209 名(うち、旅行者 1 件、団体利用 3 件 ※JR 利用者 209 名)

全体

この他にも「駅カードの制作」や「ご当地駅弁の開発」など 9 件の線区活用策を実施し、全体の参加者等は約 1,130 名(うち JR 利用者 約 740 名)でした。

※新型コロナ感染拡大防止のため、その他6事業(つながるマルシェ、団体列車の運行等)で開催見合せ

4. 2022 年度に実施予定の主な線区活用策

今年度は以下の活用策の実施を予定しております。引き続き、日南線の更なる活性化にご協力をお願い致します。

- ・日南線を活用し職業観を育む事業の推進・支援
- ・福島高校と連携した利用促進イベントの企画や実証
- ・小中学校や幼稚園、老人クラブ等の活動を対象とした日南線団体利用への支援
- ・日南線を活用したツアーへの支援